

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4310



電気火災を防ごう

火災の発生原因で多いのは放火やたばこですが、電気機器や配線からの出火も、近年増加傾向にあります。それらの電気火災の原因と予防策について学びましょう。

【コンセントやプラグからの出火】

コンセントとプラグの隙間に、ほこりや水分が付着すると、その表面で火花が散り、樹脂部分が徐々に熱を帯び、火災となることがあります。

▶ 予防策

- コンセントやプラグは、清潔に保ち丁寧に扱う
- 緩みがないように、しっかりと差し込む



【電気コードのショート】

コードが重い家具などの下敷きになったり、釘などで強く固定されたりすると、コードを傷つけてしまい、ショートの原因となります。コードを束ねた状態で使用することも、熱がこもりやすく危険です。

▶ 予防策

- コードは束ねたまま使用しない
- コードを重い家具などの下敷きにしない
- コードを釘などで固定しない



【たこ足配線】

電気コードは、使用できる電気の量が定められています。その量を超えてしまうと、熱を持ち火災となることがあります。

▶ 予防策

- たこ足配線をしない
- テーブルタップを使用する際は、許容電流を守る



【電気器具の使用放置】

アイロン、ドライヤーや電気ストーブなど熱を発生する機器を電源が入ったままで放置すると、機器自体が過熱し、それらが服や布団などの可燃物に接触すると火災となることがあります。また、電源を切ってもしばらく熱を持っているため、すぐにしまおうと火災となる恐れがあります。

▶ 予防策

- その場を離れるときは必ず電源を切る
- 燃えやすいものを近くに置かない
- 電源を切ってもすぐにはしまわない



News

平成30年度全国統一防火標語

忘れてない？ サイフにスマホに
火の確認

11月9日☉から11月15日⊕までの7日間、全国一斉に秋季火災予防運動が行われます。

この運動は、火災が発生しやすい季節を迎え、予防の意識を高めることで発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。